

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 23 年度第 1 回 第 4 分科会（教育分野）	
日時	平成 23 年 10 月 4 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分	
場所	江南市市民体育会館 2 階 第 4 会議室	
出席者	市民委員	伊神 良祐、加藤 和夫、柴田 熙、高崎 悟、津田 喜代治、中川 昭人、丸井 ささぐ
	市職員	鈴木 慎也、伊神 真一
議題	1. 今年度のまちづくり会議について 2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について 5. 平成 23 年度第 2 回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について	
資料	資料 1 江南市戦略計画達成状況報告書について 資料 2 達成率の計算方法について 資料 3 まちづくり評価シート 資料 4 各分野の目標達成状況 資料 5 まちづくり会議のスケジュール	

◆ 会議結果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・経営企画部長より、今年度の会議では、昨年度検討いただいた「まちづくり評価」に平成 22 年度の達成状況を踏まえた前期計画期間の進行管理の結果をとりまとめて、「戦略計画達成状況報告書」を作成し、広く市民へ公表していくことなどの説明がありました。

2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料 1 に基づき、今回作成する報告書についての説明がありました。また、資料 2 については、達成率の計算方法を、目標値と実績値の割合で計算するよう、変更したことの説明がありました。

3. 委員及び市職員の紹介

- ・事務局より、変更があった委員として、市職員の伊神委員の紹介がありました。

4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について

- ・江南市戦略計画の前期期間（H20～H22）のまちづくり評価及び目標達成状況報告書について、担当課長から説明がありました。各柱に対する意見等は次のとおりです。

【柱 1】地域に開かれた快適で安全な学校づくり【学校教育】

〔個別目標①〕児童生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

- ・特別支援学級等支援職員配置人数が昨年度 4 人増員され 14 名配置となっているが、現況についての説明が求められたため、各学校の状況にあわせ職員を配置し、平成 23 年 4 月から市内全ての小中学校に特別支援学級が開設されたとの説明がありました。

- ・市内全ての小中学校15校に特別支援学級が開設されたとの説明ですが、この14名の職員以外にも配置されている職員がいるのかとの質問があり、特別支援学級等支援職員には、県の基準で配置される職員と市が配置する支援職員があり、県の基準で配置される職員だけで対応が出来ない場合に、市費で補助的に支援職員を配置しているとの説明がありました。なお、各学校の特別支援学級数及び配置職員数、県の基準等の詳細については、次回の会議で説明することになりました。
- ・特別支援学級に通うかどうかは誰が判断するのかとの質問があり、就学指導委員会で医師や識見者の意見のもとで、それぞれの判定がされますが、最終的には保護者の希望を尊重するようにしているとの説明がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

〔個別目標②〕 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

- ・学校評議員の委嘱について説明が求められたため、学校評議員については、要綱で定められており、学校評議員は、地域の有識者、関係機関の代表者、保護者などで教育に関する理解と識見を有するものの中から5名程度を選出し、教育委員会へ推薦し、教育委員会が委嘱しているとの説明がありました。また、学校評議員を構成する方は、慣例的に後援会長や地元民生児童委員、主任児童委員、PTAの前年度役員や今年度役員、老人会代表、区長、保護司、町内会長などの肩書きの方が多いとの説明がありました。
- ・評価シートの今後の展開方針及び個別目標に対するまちづくり評価欄に「学校評議員を広く求め」との表現があるが、具体的な方策が示されていないので、例えば、学校評議員の人数を5名から10名に増員し意見を広く求めるような具体的な方策についての説明が求められたため、来年度に向けて学校評議員を公募する予定があるとの説明がありました。
- ・学校評議員を広く求めるにあたり、公募も良いことだが、学校評議員の意見を広く求めるという観点からすると、5名から10名に増員することも検討すべきではないかとの意見がありました。増員に伴う選出方法について、従来の5名については、今までの慣例に沿って校長を選出し、残りの5名については一般公募の中から選出するというような提案がありました。また、学校評議員の構成について、区長、保護司、民生委員といった方が多いとの説明はありましたが、ほとんどが男性であるので、女性の立場からの意見を取り入れることも重要だとの意見がありました。これらの学校評議員を広く求めることについての提案や意見に対して、現段階で学校評議員の数を5名から10名にするのではなく、公募の状況等を踏まえながら増員について検討することが適切かと思うとの説明がありました。
- ・学校評議員を広く求めることに対する委員の皆様からの提案や意見を踏まえ、まちづくり評価の内容をまとめていくことが重要であるため、皆さんの意見を真摯に受け止め、評価内容を修正し、次回の会議において修正案を再度検討するとの説明が事務局よりありました。
- ・学校の校長や教頭が地域の会合に出向いて、学校の現状などの話をしていただくような懇談会をしていただくことはできないかとの質問があり、ニーズがあれば学校も対応すると思えますとの説明がありました。
- ・取り組みの状況欄の文末の表現について、全て過去形になっているが、取り組みの内容については、現在も未来に向かって現在進行形であるものもあるので、表現を「～した。」から「～いる。」にしたほうが良いのではとの意見があり、事務局より今回は平成20年度から22年度の前期計画期間における達成状況報告書を取りまとめることから、表現を全て過去形に統一しているとの説明がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については再度検討し、次回の会議で修正案

を報告することになりました。

柱全体のまちづくり評価

- ・個別目標②の修正案を確認し、柱全体の得られた成果、今後の課題、今後の取り組みの方向性の内容を次回の会議で検討することになりました。

各分野の目標達成状況

- ・まちづくり評価シートを踏まえ作成した、主な取り組み、主な成果、主な課題の内容については、次回の会議で個別目標②の修正案を確認し、検討することになりました。

【柱2】将来にわたって活躍できる人づくり【教育環境】

【個別目標①】地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

- ・指標名「子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合」の市民の取り組み状況欄に「教育委員会の会議内容をホームページで閲覧することなどにより」との記載があるが、正確に把握ができていないのであれば無理に記載することは無いとの意見があり、内容については再度検討する説明がありました。
- ・取り組みの状況については次回の会議で再度検討することとし、個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

【個別目標②】子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

- ・各学校の不登校の児童・生徒数及びいじめ不登校対策協議会の構成員について質問があり、次回の会議で詳細を説明するとの説明がありました。
- ・取り組みの状況及び個別目標に対するまちづくり評価の内容については原案で了承されました。

柱全体のまちづくり評価

- ・柱全体の得られた成果、今後の課題、今後の取り組みの方向性の内容については原案で了承されました。

各分野の目標達成状況

- ・まちづくり評価シートを踏まえ作成した、主な取り組み、主な成果、主な課題の内容については、原案で了承されました。

5. 平成23年度第2回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 10月13日（木）午後6時00分～ 市役所 2階 大会議室

<第3回> 10月20日（木）午後6時00分～ 市役所 2階 大会議室